障害福祉分野のICT導入モデル事業 事業報告書

自治体名	長野市
------	-----

【基本情報】

【签件目刊】				
フリガナ	シャカイフクシホウジンシナノノホシ			
法人名	法人名 社会福祉法人信濃の星			
フリガナ	ትョቃሳክሳገ [*] ジーキ [*] ョウショオタスケビ アット			
事業所名	事業所名 居宅介護事業所 おたすけ・びあっと			
提供サービス(複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択)				
居宅介護				
職員数(常動換算数) 【「全職員の月間動務時間数」/「常動職員の月間動務時間数」にて第出(産休・育休、休職は除く)】				
6.3 人				
ICT機器等導入完了日	令和7年3月31日			

※行・列の追加は行わないでください。

(1) モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
職員間の情報伝達・情報共有	②一部、ICT機器等を導入している(紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている)
請求業務	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
勤怠管理	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
シフト表作成	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)
給与業務	①ICT機器等を導入していない(紙中心で事務作業を行っている)

- ※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。 ①ICT機器等を導入していない(紙のみで対応)

 - ②一部、ICT機器等を導入・活用している(紙とICT機器等で対応)
- ③ICT機器等を導入・活用している(全てICT機器等で対応)

(2) モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台 数	備考
⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト	①作業の迅速化	障害福祉ソフト「ほのぽのmore」		

- ※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。
 - 情報端末等・・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
 - ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
 - ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
 - なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。
- ※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。
- ①作業の迅速化(支援記録の作成など)
- ②情報の共有化 (職員間の情報伝達・情報共有など)
- ③業務の統合化(請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など)
- (4)その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

		発生作	牛数 C.1件当たりの		年間業務時間	1人あたり																														
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数			平均処理時間	平均処理時間	平均処理時間	平均処理時間	平均処理時間	平均処理時間																						平均処理時間	D (B×C)	業務時間	備考
		発生件数	(A×12)			(D/業務従事者数)																														
②職員間の情報伝達・情報共有	10 人	300 件	3,600 件	3分	180 時間	18 時間																														
③請求業務	2 人	50 件	600 件	5 分	50 時間	25 時間																														
⑥給与業務	1人	10 件	120 件	40 分	80 時間	80 時間																														
			0 件		0 時間																															
			0 件		0 時間																															
	360 件	4,320 件	48 分	310 時間	123 時間																															

^{※「}具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④動怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

申し送り等の連絡 一日平均10件発生×30日=300件 請求業務 毎月の平均利用者数=50名

給与計算 職員数10名

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

申し送り等の連絡 職員一人当たりの申し送り時間15分×職員数10名÷30件 150分÷30件=5分

請求業務 実際所要時間 250分÷50名=5分 給与計算 実際所要時間 400分÷10名=40分

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

② 101級前寸寺八枚マ未が時间に前へ																	
		発生件数		C.1件当たりの	年間業務時間	1人あたり											
業務内容	業務従事者数	A.ひと月当たり	B.年間発生件数	平均処理時間											D (B×C)	業務時間	備考
		発生件数	(A×12)	1 - 000-12-01-0	0 (5 0)	(D/業務従事者数)											
②職員間の情報伝達・情報共有	10 人	300 件	3,600 件	3分	180 時間	18 時間											
③請求業務	2 人	50 件	600 件	2分	20 時間	10 時間											
⑥給与業務	1人	10 件	120 件	10 分	20 時間	20 時間											
			0 件		0 時間												
			0 件		0 時間												
	360				220 時間	48 時間											

^{※「}具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④動怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。 なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A. ひと月当たり発生件数の算出方法

申し送り等の連絡 一日平均10件発生×30日=300件 請求業務 毎月の平均利用者数=50名

給与計算 職員数10名

<※2>C. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

申し送り等の連絡 職員一人当たりの申し送り時間9分×職員数10名÷30件 90分÷30件=3分

請求業務 実際所要時間 100分÷50名=2分 給与計算 実際所要時間 100分÷10名=10分

年間業務時間数削減率(%)

29.0%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

	作成文書量			
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量		
	A.O.C.カヨたり	(A×12)		
支援記録	200 ページ	2,400 ページ		
		0 ページ		
		0ページ		
	200 ページ	2,400 ページ		

④ ICT機器等導入後の作成文書量

	作成文書量			
作成文書	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量		
	760 071 470 7	(A×12)		
支援記録	100 ページ	1,200 ページ		
		0ページ		
		0ページ		
	100 ページ	1,200 ページ		

年間作成文書量削減率(%)

50.0%

1	4.)	IC.	T松料	9.0	笙	の道	n.	动	⊞

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

導入に向けて、担当者が操作説明を受ける。 各訪問介護員に、支援時、外出先で出来ること、操作方法と効果などを説明。

紙とICT機との両方を使用し、操作に慣れたころ、ICTのみに移行。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか(事業所内の推進体制、外部への相談など)を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労	らした点がありましたら、その点も記載してください。
②ICT機器等の導入による業務の変化(複数選択可)	
情報増末導入による効果	ソフトウェア導入による 効果
1 支援記録の作成に要する時間が減った。	✓ 1 支援記録の作成に要する時間が减った。
□ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。	☑ 2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
□ 3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。	☑ 3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
4 利用者の情報を一元管理できるようになった。	✓ 4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通費で行えるようになった。
5 その他の効果があった。	☑ 5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
□ 6 効果がなかった。	□ 6 その他の効果があった。
	□ 7 効果がなかった。
※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください	w。 ※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。
③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減	或の状況
訪問先や外出先で記録の作成が出来事業所内で直ぐに確認することが出	出来るようになった。
計画書、ケア会議内容等も外出先で確認が出来、サービスの統一化が図	図れた。
	Dような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、
具体的に記載してください。	
Clark 10 to - 27 1 1 1 2 #2611 + 4 4 1 - 2 1 #2611 = 0 -	- Nr m-t V
④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の	り活用万法
情報共有や他事業所への連携、ルートの確認、変更等事務処理。	
個別研修。	
WICT機器等の道】により、業務効率化で確保できた職員の業	業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。
AIOT級配号の等人により、未効が干して唯体できた感覚の未	たのが同じという。 1890とのような未分に治力できたがなど、共体的に記載してくたです。
(5) ICT機器等の導入による費用面での効果	
ICT機器等の導入による費用の縮減	
※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下に	こついても回答をお願いします。
縮減額 (円)	90,000円
職員の賃上げ等への充当	有
その他職場環境の改善への充当(※1)	無
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	無

(※1)「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

(%2)	「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。
	1) CANSTANTER NATURAL AND THE SACE SELECTION OF A LOCA .